

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標の達成度	<p>洋裁技術による収入創出—事業開始時期から3期目終了時期までの収入向上率は46%増加し、収入創出に大きく貢献した。</p> <p>女性の経済的自立—仕立屋、縫製工場勤務、指導者としての専門的職業意識、社会的自立の意識を高め、計画されたカリキュラムにおいては120%達成した。このことから、上位目標である「バルカ県南シューナ郡の女性の経済的自立」は十分に達成されたといえる。</p>
(2) 事業内容	<p>(イ) 洋裁指導カリキュラム</p> <p>日本品質基準の初級から上級レベルの着物地を利用した訓練 洋服17デザイン136点、手工芸品6デザイン132点の合計制作数268作品が仕上がった。</p> <p>(ロ) 教材の活用とファッションショー兼修了式に向けた取り組み</p> <p>日本全国から寄贈された着物生地を教材とし、洋裁訓練を実施した。修了式及びファッションショー実施に向け、企画から制作、イベント運営に至るまでを指導。</p> <p>(ハ) マーケティング授業</p> <p>ファッションショー企画を立案・実施に至るまでの講義と実習、同時に行うバザー開催のための生産管理方法の実習。</p> <p>(ニ) ワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「洋服の仕立とボディフィッティングを学ぶワークショップ後半」 実施日 2012年12月2日、参加者20名。ヨルダン国内から仕立屋講師を招聘、ボディフィッティング講義と仕立屋経営に関連した授業を行った。 ・商材の仕入れと商品開発を学ぶ校外学習 実施日 2012年10月4日、参加者20名。商材販売店の訪問と買い付けの実習。小売店を訪問し商品開発について学習した。 ・ファッションショー及び修了式典 実施日 2013年1月31日、参加者41名。アンマン市内「Royal Cultural Center」にてファッションショーを行い訓練3年間の成果を発表した。併せて修了式典、バザーを開催した。 <p>(ホ) 品質評価</p> <p>当該事業地で制作された完成品は日本で開催した「リボンウェアチャリティ展示即売会」に出品した。来場者に向けて、品質レベルが先進国で通用するかどうかの確認を行った。</p> <p>(ヘ) ヨルダン国内販路開拓</p> <p>ヨルダン国内で作品の販売ルートを開拓した。情報をマニュアル化しガイドラインを制定、実務レベルの生産管理法を指導した。</p> <p>(ト) 洋裁指導テキストブック</p> <p>3か国語に翻訳された、詳しい図形入りの日本語・英語・アラビア語の教科書を作成した。</p> <p>(チ) 実践型授業</p> <p>定期的にボディフィッティング授業を実施、仕立て直しが必要な洋服を教材として使用、仕立て直し方法や代金の算出方法の授業を行った。</p>

<p>(3) 達成された効果</p>	<p>裨益者数：300名（家族・親族・村の女性を対象30名×10名） 直接裨益者：30名</p> <p>(イ) 洋裁指導カリキュラム 申請書に記載されたデザイン数と制作枚数を120%達成、指導者による作品評価の結果も中級から上級レベルに達しているとの評価を得た。評価後の作品への仕立て代金合計720.9JD(自己資金から支給)前年対比32.3%増。</p> <p>(ロ) 教材の活用とファッションショー及び修了式への取り組み 扱いの難しい正絹生地や着物の難生地を再利用し、上級レベルの作品に挑戦した。作品ごとの検品テストの結果、8割の訓練生が上級レベルの縫製を理解しているという結果が出た。ファッションショー開催に向け、企画立案・実施までの授業を行い、訓練生が主体的に実施したことで、地域の女性グループにおける社会的自立活動のモデルケースとなった。</p> <p>(ハ) マーケティング授業 ファッションショー企画に伴い、その社会的影響や情報発信方法などを指導した。バザー開催や取引店への訪問など実践的な経験を積んだ後、複合テストを実施、7割の訓練生が商品の流通や生産性に関連する内容を理解していた。</p> <p>(ニ) ワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕立直し全般の技術を習得、代金算出方法などを学び、仕立屋への将来計画を具現化することが出来た。 ・ファッションショーで制作する作品の生地数や付属品などをリストアップ、グループ別に予算内に見合った買い付けの実習をした。このことにより、独自の活動展開が出来る基盤が整った。 ・ファッションショー実施にあたり、企画・制作・運営全般を現地職員と訓練生主導で行い、3年間の成果発表として39デザインをファッションショーで披露した。政府関係者や地元メーカーから評価され、連携を強めた。当日の地元ラジオや翌日の地元紙「Jordan Times」に紹介され、さらに波及効果が出たことで、譲渡後の継続維持のオファーも来ている。実施後のアンケートから、93%の来場者が女性のエンパワメントに貢献した、95%が当イベント運営と作品に強い感銘を受けた、92%が女性達は自信を持って歩いていた、と答えている。 <p>(ホ) 品質評価 日本国内で実施したチャリティセール来場者に作品の品質を確認した結果、8割の来場者から高評価を得た。内容は現地へフィードバックし情報共有したことで、評価点や改善点を理解、向上心が生まれ積極的に課題に取り組んだ。</p> <p>(ヘ) ヨルダン国内販路開拓 アンマン市内の小売店1店舗と定期的に受注生産を行い、手工芸品や洋服などが店頭にて販売され始めた。作品販売売り上げ合計561.5JD。決定したガイドインに沿って訓練生自身で商品が収められる体制が整備された。その他、2業者との引き合いに応じて、現地連携団体代表と技術・販促リーダーが実現のため積極的に技術提供している。そのうちの一つ、Jordan River Foundation の活動施設の企業訪問も実現</p>
--------------------	--

	<p>した。3 期間中に仕上がった作品の実質上の収入向上率はフェーズ 1 から 4 6 % 増、生産能力もフェーズ 3 になり同等数の伸びが見られた。</p> <p>(ト) 洋裁指導テキストブック</p> <p>日本語と英語版、アラビア語と英語版のテキストブックが完成した。事業譲渡後の電話アンケートの結果、支給された訓練生の 9 2 % がこれを活用しており、技術の維持と向上への一助となっている。また、これを利用して指導者として新たな人員育成にも期待が持てる。</p> <p>(チ) 実践型授業</p> <p>定期的実施したボディフィッティング授業では、仕立代金の算出方法を指導し、それに対しての生産数を具体的に出した。想定よりも仕立て直し枚数が集まらなかったが依頼者への満足度調査アンケートの結果、利用者の 9 割が満足と答えている。</p>
(4) 持続発展性	<p>3 月 7 日、南シューナ社会開発省担当官立ち会いのもと現地連携団体である Al-Jawasreh Charity Association for Women の活動施設 コミュニティセンターにて事業譲渡、技術移転と資機材を移管した。譲渡後の管理体制は、現地連携団体代表の管轄のもと、技術リーダー、販促リーダー(フェーズ 3 フィールドオフィサー)により運営・維持されていく。本事業の資機材一式を団体の活動するコミュニティセンターに移管し、新たな活動施設として運営能力強化に努める。譲渡に伴い両団体において、持続的発展におけるフォローアップ契約 (Follow-Up Agreement on Sustainable Development) を結び、資機材や事業の効果を維持することを確認した。また、事業終了後は当会と現地連携団体が情報を共有し、2 か月に一度はフォローアップレポートの提出を義務付け、当会が状況の把握や助言が出来るように管理体制を整備した。本事業にて 3 年間洋裁教員として勤務した現地職員が毎月一度特別講師として視察、訓練生とその活動をサポートしていく。</p> <p>●ヨルダン国内販路について</p> <p>①アンマン市内の小売店「Khalifah for Hand Embroidery & Gift」、途切れず受注生産を実施中。生産体制は事業期間内での実習にて販促リーダーがノウハウを身に付け実践していく。今後も、途切れることのないよう引き合いを続けていく。</p> <p>②アンマン市内の NPO「Jordan River Foundation」 http://www.jordanriver.jo/ 技術提供の引き合いに応じ、連携団体運営スタッフが積極的に提携に向けて活動していく計画である。</p> <p>③南シューナ地域 学生服の仕立てを受け入れる予定である。 今後は①から③項目からの収入 1 0 % を団体の活動費用とし、その残りは活動メンバーの収入としながら、活動を継続維持していく。 また地域の女性への洋裁技術指導を実施しながら、地域のコミュニティ活動とその連携を強め、運営管理能力強化を推し進めていく。</p>